



生徒指導 の充実	出身中学校との連携	中学校訪問を実施して、支援シートを活用し、入学生への理解を深め、個に応じたきめ細かな支援体制の充実を図る。		
	交通安全指導の充実	交通安全講話、バイク実技講習、交通安全街頭指導、自転車整備点検を実施し、交通安全意識の向上を図るとともに、命の大切さを学習する。		
	いじめ・体罰のない学校づくり	いじめ対策推進教員を中心に、いじめの確実な認知、いじめ対策委員会による組織的ないじめ対応、及び未然防止を図る。教職員は生徒情報の共有化を図るとともに、いじめ対策推進教員への確実な報告を徹底する。		
		いじめ・体罰アンケート調査を定期的実施して、実態把握と重大事態の未然防止に努めるとともに、いじめや体罰を許さない校内環境を維持する。		
		いじめ防止対策基本方針の点検を行い、常に自校のいじめ対策の在り方について検証する。		
		情報モラル講演会や日頃の指導等により、スマートフォンや携帯電話等の正しい使い方、SNS等の利用の在り方についての指導を徹底し、トラブルの未然防止に努める。		
	教育相談・特別支援教育体制の強化	生徒の教育相談を毎学期に実施し、生徒理解の充実と課題等への早期対応を図る。個別の支援を必要とする生徒への指導も一層充実させる。		
		外部機関と連携した指導体制づくりを推進し、特別支援教育の教職員研修をするなど、職員のソーシャルスキルの向上を図る。		
		外部専門機関と連携した指導体制を確立し、個別の支援計画を作成するなど支援の強化を図る。		
	生徒会活動の活性化	体育祭、文化祭等の学校行事等において、地域と連携した活動を行うなど、生徒会活動を一層充実させる。		
部活動を奨励し、部活動加入率を60%以上とする。				
地域ボランティア活動や、行事へ積極的に参加し、地域との交流を深める。				
校内の清掃美化・環境整備	通常清掃、大清掃を徹底し、手入れの行き届いた清潔・快適な学習環境を常に維持する。			
非常事態への適切な対応	防災訓練（地域との連携）の推進を図る。 心肺蘇生・AED講習会の実施等により、安全と生命尊重の精神を養う。 感染症対策の指導を行う。			
地域連携 と道徳教育の推進	外部機関等と連携した取組の推進	地域コーディネーターを活用し、地域の外部機関等と連携した新たな取組を提案するなど、生徒と地域が協働した取り組みを推進する。		
	ボランティア活動への生徒一人一取組の推進	生徒が一人一取組に参加することを目標とし、地域との交流機会の更なる充実と地域交流の活性化を図る。		
	地域活動への積極的な参画の推進	地域行事や地域連携の取り組み等に参加するところによって、自己有用感を醸成する。コミュニティ・コーディネーター養成講座に参加し、地域の活性化に取り組む。		
	コミュニケーションスキル、ソーシャルスキル向上のための取組強化	ソーシャルスキルトレーニング等を充実させ、発達段階相応の対人スキルを身につかせる。		
		各種ボランティア活動において、異世代交流を図り、コミュニケーション能力の向上を図る。		
		成果（ボランティア活動等）を発表する機会を設け、発表能力・情報発信力を育成する。		
さらなるキャリア教育の推進	総合的な探究の時間を活用したキャリア形成	地域と連携・協働することで、地域の課題について知り、地域の課題について思考する力の伸長を図る。		
		地域の課題を解決するために探究活動を行い、その成果を発表や成果物としてまとめて発信する。		
		広報誌を発行し中学校訪問等をおして、保護者、地域及び地元中学校に対する積極的な広報活動を展開する。		
	地域の人材を活用した対話的な学びの実践	保護者や学校周辺の地域住民の方に学校行事に参加してもらえるように町内会に働きかけ、地域と協働の活動を展開する。 「まちづくり連携事業」を活用した地域コーディネーターとの連携を通して、生徒が地域に出て貢献活動や交流活動を行う。		
	体験学習による学びの深化	南区との連携協定の利点を生かしつつ、周辺地域との連携を更に強化する。異世代や異文化との交流をおして、コミュニケーション能力を育成し、豊かな人間形成を目指す。		
タブレット端末を利用して探究活動を通じた深い学び	タブレット端末を利活用するとともに、主体的に調べる態度を養い、探究活動等を通して自らの生き方・在り方を進められる能力を培う。			
成果			総合評価	